

泡立つクリームシャンプー

テクノビュー ティーが処方提案 チューブ容器対応

化粧品OEMのテクノビューティーサプライ(埼玉県三郷市、遠藤真人社長)はこのほど、ポリユームアップをコンセプトとしたクリームシャンプーを新たに開発し、提案を開始した。クリーム状でありながら泡立つ独自処方を採用し、従来のシャンプーとの差別化を図るとともに、チューブ容器への対応による容器コストの低減も両立。新たなヘアケア商品の選択肢として提案活動を進めている。

新開発したクリームシャンプーは、クリーム状でありながら泡立つ処方を採用

用。濃厚な使用感を演出するとともに、毛髪のハリ・コシやポリユーム感に着目した設計としている。一般的な液状シャンプーとは異なる剤形とすることで、消費者に新たな使用感を提案するとともに、店頭でも存在感のある商品展開を可能にする。

また、ポンプ容器だけでなくチューブ容器への充填にも対応できることも特徴の一つ。チューブ化により容器コストを抑えやすくなるほか、内容量や価格設計の自由度も高まり、原材料や包装資材の価格上昇が続

く中で、コスト面を考慮した商品設計にもつなげられるとしている。すでに化粧品ブランドへの提案を開始しており、今後採用拡大を目指す。

遠藤社長は「ヘアケア市場では商品数が増え、処方や成分だけでは違いを伝えにくくなっている。クリーム状という剤形を採用することで、使用感だけでなく見た目や容器選択の幅まで含めた差別化提案ができる」と説明する。

その一方で、「コストを抑える提案も大切だが、化粧品は機能だけではなく、手に取る楽しさや所有する満足感も商品の価値であり、そうした感性に訴える処方提案も化粧品OEMの役割だと考えている。これからも市場に新しい切り口を提案できる製品開発を進めていきたい」と話している。

